

2017 秋 湘南国際村めぐりの森 植樹・育樹祭 ～ 都市近郊の森づくり ～

2017/11/05

2017年11月5日（日）、快晴の秋空の下、[湘南国際村めぐりの森](#)（横須賀市）において、約130名が集い植樹・育樹祭を開催しました。開会式では、本プロジェクトの趣旨説明に続いて、この活動をご指導され、目下リハビリ療養中の[宮脇昭](#)先生（横浜国大名誉教授）からの祝辞録音メッセージも披露されました。



開発用地として緑を失っていた荒地が、多くの自然種の樹種を植えることにより本来の森の姿を取り戻しています。地球温暖化への対策として、二酸化炭素（CO₂）の吸収に資する植樹は、ささやかながら意義深く有効なエコ活動と言えます。

この日、私達は、次の二つのグループに分かれて、参加者間の交流を図りながら力を合わせ「自然の森」を育む活動に爽やかな汗を流しました。



固い地盤は剣スコで掘って植樹！



大地に命を植える貴重な体験！

①大地再生箇所への植樹：

水脈誘導／土壌生物活用／炭・枯草等による土

壤改良（[通気浸透水脈改善](#)）を施した手造り地盤に「その土地本来の樹種」の広葉樹を複数選択して、620本の苗木を混植・密植しました。

②前年度植樹地の育樹：

前年に植樹したC地区の道路沿いエリアのメンテナンス作業として、雑草を除去する育樹作業を行いました。（植樹後2～3年間は、小さな苗木よりも雑草の生長が早く日照を遮ってしまうことから、育樹（除草）作業が必要となります。地盤が固い湘南国際村では、通常より苗木の生長が遅く、その分、育樹期間も長期を要する状況です）



「その土地本来の木による本物の森(自然の森)」を再生！



沢山の種類の広葉樹を混ぜて植える！

①の大地再生箇所において、有り難いことに、進和学園はじめ「[どんぐりブラザーズ](#)」（福祉施設の森づくりチーム）が栽培した苗木を活用頂きましたが、下記4団体様のご支援・協賛を得て提供させて頂きました。植樹を通じた環境保全並びに障害者の自立就労支援にも繋がり、心より感謝申し上げます。

協賛企業・団体（敬称略）	
三機工業（株）	苗木300本を「いのちの森づくり友の会」へのご寄附を通じてご提供。
NPO 法人 Silva	苗木222本をご購入の上ご寄贈。
三井住友海上火災保険（株）	苗木200本をご購入の上ご寄贈。 この日、内50本を植樹。残りは別途植樹予定。
NPO 法人 GoodDay	苗木114本をご購入の上ご寄贈。 この日、内48本を植樹。残りは別途植樹予定。

また、上記苗木には、横浜ゴム（株）、tvk（テレビ神奈川）、（株）家具の大正堂の社員の皆様が栽培した幼苗を、進和学園にご寄贈頂き栽培を引き継がせて頂いた苗木が相当数含まれています。重ねて御礼申し上げます。

2017湘南国際村めぐりの森 植樹・育樹祭

自然の森は、いろいろな種類が混ざり合っている。
仲の良いものだけ集めても駄目！
混ぜる。混ぜる。混ぜる！

宮脇 昭（植物生態学者）



2017年湘南国際村めぐりの森 植樹祭・育樹祭

2017年11月5日(日)

(注) 湘南国際村における補植：

今秋も、三井住友海上火災保険（株）様、NPO 法人 Good Day 様他の協賛を得て、合計438本の苗木を補植する予定です。これまでの累計植樹本数は約52,000本、2013年から着手した補植は約4,300本で比率は約8%です。逗子泥岩の固い地盤、強風の沿岸域という厳しい条件を克服し、90%以上の苗木が活着し生長は緩やかですが着実に根付いています。宮脇昭先生が提唱される潜在自然植生による密植・混植方式の成果が確認出来ます。

案内チラシ

⇒ [2017秋 湘南国際村めぐりの森 植樹・育樹祭のご案内](#)